

深松組（仙台市、深松努社長）などが、東日本震災で被災した仙台市東部沿岸部の防災集団移転跡地に



温泉やレストラン、農園などからなる複合施設

## アクアイグニス仙台

### 深松組 源泉掘削に着手

整備する温泉と食の総合リゾート（仮称）「アクアイグニス仙台」の源泉掘削工事の安全祈願祭が24日、同市若林区藤塚の現地で行われた。今後、約半年を掛けて地下1000㍍まで掘削する。4月から造成工事に着手し、今秋には本體工事をスタートさせる。2022年春のオープンを目指す。



深松社長

2800平方㍍)のほか、マルシェ棟2棟やベーカリー棟、スイーツ棟、レストラン棟、野菜・果物ハウスなどで構成する。

事業主体は同社などが設立した仙台 reborn（同社長）。総事業費は約30億円を見込んでいる。設計はARTS（津市）が担当しており、施工は温泉棟が深松組、温泉棟以外の木造建築および外構は、仙台建設業協会の会員企業でつくる「杜の都建設協同組合」、源泉掘削は東北ボーリングが担う。

出席し、祝詞奏上に続いて代表者が神前に玉ぐしをささげ、工事の安全と早期完成を祈願した。神事後、あいさつに立った深松社長は「津波で甚大な被害を受けた藤塚地区に憩いの場をつくり、にぎわいを取り戻したい。地域の皆さんとも連携し、この地区を震災前以上に盛り上げていきたい」と語った。

アクアイグニス仙台は、温泉やレストラン、農園などからなる複合施設。具体的にはメインの温泉棟（R C一部木造2階建て延べ約1分の駐車場などを備える。

オープン時には、正社員とパートスタッフを合わせて200人以上を地元優先で採用する予定だ。建設地は同区藤塚字松の敷地約3・4㍍。

また、多目的広場やビオトープ、園路、約330台

掘削技術と最新の井戸仕上げ技術を駆使し、皆さんの期待に沿えるよう全力で取り組み」と決意を表した。

## 秋に本體工事 22年春オープン

西49の敷地約3・4㍍。神事には関係者約40人が